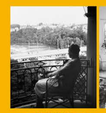
アルヴァが撮影したアイノ、メイスのホラ内にて、1940s
©Aalto Family Collection

マルモのハウジングと芸術、リビングルーム、インテリアデザインはアイノ、1944

ニューヨーク万国博覧会でフィンランド館の施工監理をするアイノとアルヴァ、1939

ヴィラ・マイレアのリビングルーム、1939

ガラス器 アーロン・クッカ（アアルトの花）

パリ万国博覧会でのアイノとアルヴァ、1937

レストラン・サヴォイのインテリア、1937

プリント布地 キルシン・クッカ（桜の花）

プリント布地 A.A.

第6回ミラノ・トリエンナーレのアルテック（パビリオン、1936

アルテックショップ、1939

ヴィープリの図書館 子ども図書館のインテリア、1935

スツール 60

41 アームチェア・パイミオ

パイミオのサナトリウムのインテリア、1933

ガラス器 ボルゲブリック（水鉢）

アアルト自邸外観

アアルト一家イマトラ夏別荘で、1930s
©Aalto Family Collection

最小限住宅展、1930

アイノとアルヴァ、1930
©Aalto Family Collection

ヴィラ・フローラ外観、1926

ガハニ・ハウス外観

アイノとアルヴァ、二人の歩み

二人が手がけた主な作品

世界情勢とフィンランド国内情勢

建築事象

1894
- アイノ、フィンランド・ヘルシンキで生まれる

1898
- 13人兄弟で、父は鉄道会社の財動手。教育熱心な家庭だった
- アルヴァ、フィンランド・クオルタネで生まれる
- 4人兄弟で、父は測量技師、母は郵便局員だった

1906
- 議会改革により、普通選挙権、女性参政権

1913
- アイノ、ヘルシンキ工科大学（現アアルト大学）に入学

1914
- 第一次世界大戦（～18）

1916
- アルヴァ、ヘルシンキ工科大学に入学

1917
- ロシア革命
- フィンランド独立宣言

1918
- フィンランド共和国を制定
- フィンランド国内で内戦、白衛軍が赤衛軍に勝利

1919
- アイノ、ツムストゥン協会設立に参加

1920
- アイノ、ヘルシンキ工科大学を卒業

1921
- アルヴァ、ヘルシンキ工科大学を卒業

1922
- 雇用契約法、雇用が認められる

1923
- アルヴァ、ユヴァスキラで アアルト事務所開設

1924
- アイノがアアルト事務所に入所
- その6か月後に二人は結婚し イタリアに新婚旅行

1925
- 長女、ヨハンナ生まれ

1926
- ストックホルムで スウェン・マルケリウスと知り合う
- マルケリウスは後に、アルヴァを CIAM（近代建築国際会議）に推薦した

1927
- アアルト事務所トゥルクに移転

1928
- 長男、ハミルカル生まれる
- アアルト夫妻、フランスへ旅行、
- 経営地のアンヴァークで 手掛けたアンティーク・コルボネットはバーチ材の「ラメラ曲げ木」や無垢材を一手掛けに向けた「L-レッグ」などの開発に着手

1929
- アルヴァ、第2回CIAM（フリュッセル）出席
- モホリ＝ナジ・ラースロー、ジークフリート・ギーディオン、ヴァルター・グロピウスらとの交友始まる

1930
- スツール60、パイミオ、アームチェア41、アルテック第1店舗（フリュッセル）に出展し、フィンランドデザインについて発表

1931
- アイノ、悪性腫瘍の手術
- アアルト夫妻は彼女の国内を一緒に旅し、彼の写真集に影響を受ける

1932
- カルフラーイタラ・ガラス展覧会のコンペで アイノがデザインした「ボルゲブリック」が2等
- ウォーレンベダル社と家具販売のライセンス契約
- 「リーヒメーエン・ッカ」が2等
- ミラノ・トリエンナーレ 第4回ミラノ国際博覧会のコンペで 「パラソルのサナトリウム」の 設計デザインが1等

1933
- アアルト事務所、ヘルシンキに移転
- この頃、フィンランド公使・市河彦太郎、彼女を通じ知り合い、仮住まいを提供される
- イタリアで チューブレッグの特許を出願

1934
- アイノ、アルフレッド・コルアイン財団の展覧会で、ヨーロッパ建築視察旅行
- アアルト夫妻、アルベルト・アイニオ、パリ・チューリッヒ・ベルリン・ヨーロッパのインテリア、テキスタイルやインテリア素材の視察旅行

1935
- アアルト夫妻、ニルス・グスタフ・ハルがアイビス・フィンランド協会等で 頭角を現す
- アートディレクターを務めていたアイノが 彼に代わりアルテック社長に就任

1936
- ミラノ・トリエンナーレで アイノがデザインした ガラス器「アーロン・クッカ」（桜の花）が金賞獲得
- カルフラーイタラ・ガラス展覧会のコンペでの「サヴォイ・ベース」が優勝

1937
- パリ国際博覧会フィンランド館 インテリアデザイン
- アアルト事務所、ヘルシンキに移転
- ニューヨーク近代美術館（MoMA）「アルヴァ・アアルト 建築と家具展」

1938
- ニューヨーク近代美術館（MoMA）「アルヴァ・アアルト 建築と家具展」
- プリント布地「アア」

1939
- 第二次世界大戦（～45）
- ソビエト・フィンランド冬戦争（～40）

1940
- アルヴァ、ワシントンで フィンランド復興を呼びかける

1941
- ニルス・グスタフ・ハルがアイビス・フィンランド協会等で 頭角を現す
- アートディレクターを務めていたアイノが 彼に代わりアルテック社長に就任
- AMA500ペンダント

1942
- アーキテクト協会が設立される

1943
- アルヴァ、フィンランド建築家協会（SAFA）会長に就任

1944
- アルヴァ、MIT（マサチューセッツ工科大学）を訪問

1945
- アルヴァ、MIT に滞在
- フランク・ロイド・ライトを訪問

1946
- アルヴァ、MIT の客員教授就任
- アイノ、癌と診断され手術

1947
- アアルト夫妻、スイス へ旅行
- ウォーレンベダル社との関係解消
- 90度の角度で接続した「Y レッグ」を開発

1948
- アアルト夫妻、イタリアへ 旅行

1949
- アイノ逝去（享年54歳）
- アルヴァは その後、エリッサ・マキニエミと再婚
- 数々の建築を手がけ、76年に逝去

- ガラス器「アーロン・クッカ」
- ルイラ・アールトとものの家
- ニューヨーク万国博覧会フィンランド館
- ヴィラ・マイレア
- ニューヨーク近代美術館（MoMA）「アルヴァ・アアルト 建築と家具展」
- プリント布地「アア」
- パリ国際博覧会フィンランド館
- L-、アームチェア、スツール41 現役生産
- ニイモ製紙工場のオフィス、労働者住宅
- A330S ペンダントゴールデンベル
- ヴィープリの図書館
- ガラス器「ボルゲブリック」（水鉢）
- ヴィラ・タンメンカン
- 901・テイトローリー
- ソビエト・フィンランド継続戦争（～44）
- ガラス器「カルヒ（イヤリカン）・クッカ」（桜の花）
- 夏の家、ヘイノラ
- ヴィラ・タンメンカン
- 国民年金協会コンペ 等
- MIT 学生寮ベーカー・ハウス
- スウェーデン工芸デザイン協会
- マルモのハウジング工芸展
- ロヴァニエミ復興計画「トナカイの角」
- ヘルシンキ工芸デザイン協会
- スウェーデン・アルテックのパリオン
- ノールマルックとものと福祉健康センター
- スウェーデン工芸デザイン協会
- マルモのハウジング工芸展
- ロヴァニエミ復興計画「トナカイの角」
- ソビエト・フィンランド継続戦争（～44）
- フィンランドの一部、ソ連に割譲
- ドイツ軍の焦土作戦により ロヴァニエミが全焼
- 第二次世界大戦（～45）
- ソビエト・フィンランド冬戦争（～40）
- 第4回CIAM アテネで開催
- 第3回CIAM 開催 テーマは「配置の合理的方法」
- 第2回CIAM フランクフルトで開催 テーマは「最小限住宅」
- 第1回CIAM（近代建築国際会議）スイスのラ・サラで開催
- ストックホルム市立図書館
- ストックホルム市庁舎
- ラグナル・エストベリ
- パヴァホウス校舎（デッサウ）ヴァルター・グロピウス
- パリ装飾美術博覧会 エスプリ・ヌーヴォー館 ル・コルビュジエ
- シュレーダー邸 ヘリット・リートフェルト
- 森の礼拝堂 グンナール・アスプルンド
- パヴハウス校舎 初代校長 ヴァルター・グロピウス
- ヘルシンキ中央駅 エリエル・サーリネン、エドモンド・ブルーン、ティコ・ソニンスン 設計 ル・コルビュジエ
- ヘルシンキ中央駅 エリエル・サーリネン、エドモンド・ブルーン、ティコ・ソニンスン 設計 ル・コルビュジエ
- 琉球学（ストックホルム国立民族博物館）浮貝会徳三郎
- フィンランド日本協会設立
- カサ・デル・ファショ ジュゼペ・テラーニ
- パリ万国博覧会日本館（フランプリ）坂倉準三
- 第5回CIAM パリで開催 テーマは「建築の社会化」
- ストックホルム・デザイン工芸博覧会 グンナール・アスプルンドらが トゥーリンゲートヘ移転 ミース・ファン・デル・ローエ
- パヴハウスの開校 第4回CIAM アテネで開催 テーマは「機能的都市」 アテネ憲章 発表
- ヘルシンキ中央駅 エリエル・サーリネン、エドモンド・ブルーン、ティコ・ソニンスン 設計 ル・コルビュジエ
- ヘルシンキ・コンサートホール スウェン・マルケリウス
- サヴォア邸 ル・コルビュジエ
- 満州事変
- 第一次世界大恐慌
- 雇用契約法、雇用が認められる
- 白衛軍が赤衛軍に勝利
- フィンランド独立宣言
- ロシア革命
- 第一次世界大戦（～18）
- 普通選挙権、女性参政権
- 議会改革により、

- 西洋フィンランド農業協同組合ビル
- ユヴァスキュラ労働者クラブ
- アロクロ・メイナーの住居
- ヴィラ・フローラ
- タンペレ・ハウス
- ガラス器「ボルゲブリック」（水鉢）
- ヴィラ・タンメンカン
- 41アームチェア パイミオ
- ウィープリの図書館
- ガラス器「リーリエ（イキの花）」
- 401アームチェア
- パイミオのサナトリウム
- ガラス器「リーリエ（イキの花）」
- ナチス政権獲得
- ウィンランド工芸デザイン協会「最小限住宅展」
- トゥルン・サノマト新聞社
- ウィープリの図書館
- 満州事変
- 世界大恐慌
- 琉球学（ストックホルム国立民族博物館）浮貝会徳三郎
- フィンランド日本協会設立
- ストックホルム・デザイン工芸博覧会 グンナール・アスプルンドらが トゥーリンゲートヘ移転 ミース・ファン・デル・ローエ
- ヘルシンキ・コンサートホール スウェン・マルケリウス
- 第2回CIAM フランクフルトで開催 テーマは「最小限住宅」
- 第1回CIAM（近代建築国際会議）スイスのラ・サラで開催
- ストックホルム市立図書館
- ストックホルム市庁舎 ラグナル・エストベリ
- パヴハウス校舎（デッサウ）ヴァルター・グロピウス
- パリ装飾美術博覧会 エスプリ・ヌーヴォー館 ル・コルビュジエ
- シュレーダー邸 ヘリット・リートフェルト
- 森の礼拝堂 グンナール・アスプルンド
- パヴハウス校舎 初代校長 ヴァルター・グロピウス
- ヘルシンキ中央駅 エリエル・サーリネン、エドモンド・ブルーン、ティコ・ソニンスン 設計 ル・コルビュジエ

- 雇用契約法、雇用が認められる
- フィンランド共和国を制定
- フィンランド国内で内戦、白衛軍が赤衛軍に勝利
- ロシア革命
- フィンランド独立宣言
- 第一次世界大戦（～18）
- 普通選挙権、女性参政権
- 議会改革により、

- 西洋フィンランド農業協同組合ビル
- ユヴァスキュラ労働者クラブ
- アロクロ・メイナーの住居
- ヴィラ・フローラ
- タンペレ・ハウス
- ガラス器「ボルゲブリック」（水鉢）
- ヴィラ・タンメンカン
- 41アームチェア パイミオ
- ウィープリの図書館
- ガラス器「リーリエ（イキの花）」
- 401アームチェア
- パイミオのサナトリウム
- ガラス器「リーリエ（イキの花）」
- ナチス政権獲得
- ウィンランド工芸デザイン協会「最小限住宅展」
- トゥルン・サノマト新聞社
- ウィープリの図書館
- 満州事変
- 世界大恐慌
- 琉球学（ストックホルム国立民族博物館）浮貝会徳三郎
- フィンランド日本協会設立
- ストックホルム・デザイン工芸博覧会 グンナール・アスプルンドらが トゥーリンゲートヘ移転 ミース・ファン・デル・ローエ
- ヘルシンキ・コンサートホール スウェン・マルケリウス
- 第2回CIAM フランクフルトで開催 テーマは「最小限住宅」
- 第1回CIAM（近代建築国際会議）スイスのラ・サラで開催
- ストックホルム市立図書館
- ストックホルム市庁舎 ラグナル・エストベリ
- パヴハウス校舎（デッサウ）ヴァルター・グロピウス
- パリ装飾美術博覧会 エスプリ・ヌーヴォー館 ル・コルビュジエ
- シュレーダー邸 ヘリット・リートフェルト
- 森の礼拝堂 グンナール・アスプルンド
- パヴハウス校舎 初代校長 ヴァルター・グロピウス
- ヘルシンキ中央駅 エリエル・サーリネン、エドモンド・ブルーン、ティコ・ソニンスン 設計 ル・コルビュジエ

- 第二次世界大戦（～45）
- ソビエト・フィンランド冬戦争（～40）
- ドイツ軍の焦土作戦により ロヴァニエミが全焼
- ソビエト・フィンランド継続戦争（～44）
- フィンランドの一部、ソ連に割譲
- 第4回CIAM アテネで開催 テーマは「機能的都市」 アテネ憲章 発表
- 第3回CIAM 開催 テーマは「配置の合理的方法」